



特集 未来の守山を考える

まちの潤いを支える地域の商工業

平坦な地形で、利便性の高い市街地と豊かな自然が共存している本市は、全国的な人口減少や大都市の人口集中が問題となる中でも、緩やかな人口増加を維持しています。

これは誇るべきことですが、全国的な人口減少の波は、いずれ本市にも訪れます。

本市は、来るべき将来に備え、かつポジティブな未来を拓くため、田園風景の中で培われてきたモリヤマメロンをはじめとする農業の分野と、まちづくりの分野で、地域おこし協力隊を委嘱しました。

第一次産業も含め、商工業など地域経済の発奮は、本市のまちづくりの行方に大きく影響します。

日頃の生活圏から見ただけでは気が付かない、地域経済、住みやすさ、にぎわいづくりやイベント開催など、多方面から本市のまちづくりを支える、小売業、建設業、サービス業など、地元で事業を営む商工業の担い手たちの、郷土への想いや、直面する課題、未来を切り拓くチャレンジなどを取材しました。

商店街にある守山宿・町家“うの家”の趣に、興味深々とスタッフと話を
地域おこし協力隊の林さん(中央)

“一城の主” その心意気で、まちを盛り上げる

豊かな田園都市を支える、商工業(者)のホンネの話

ピックアップ

わたしの自慢

宮川さん 私の事業所は中央商店街にあります。家庭用燃料（LPガス）を販売する会社は県内に約180社ありますが、すべての顧客と会社のパソコンを通信で結び、集中監視システムを完全導入できているのは弊社

しかありません。その一つが、わが社です。
堀井さん 観光地となつていて、全国の古い町並みと違い、緩やかに変遷を重ねてきた中央商店街には、人の生活、つながり、宿場町の風情が共存しています。商店街にはノスタルジックなイメージがありますが、まちに必要なすべてが詰まっています。

地元企業を承継する3代目
守山青年会議所
有限会社宮川燃料 宮川和也さん



北川さん 米原市出身で、守山にメデイカル整体とトレーニング指導の店を構えています。昨年第二子が生まれて絶賛子育て中です。私自身が野球で肘を傷めて師匠に救われた経験があるので、一般の人からスポーツ選手まで、治療、リハビリ、トレーニングを複合的に見えています。私の自慢は、お店の幅広い利用者層ですね。

宮川さん 「地域とともに歩む」をキーワードにしてきた県立守山北高に、今年度新しくできた「みらい共創科」には学習指導要領がありません。先生が話し合つて、新しい学びへの挑戦をしています。高校生の「自分と向き合う力」「自分を高める力」「他者につながる力」を伸ばすため、地域の企業や農園など16カ所で、体験から学ぶフィールドワークを行っています。

わたしのチャレンジ

宮川さん 顧客と深く付き合えるのは地元商店のメリットで、高齢世帯でガスの使用量から異

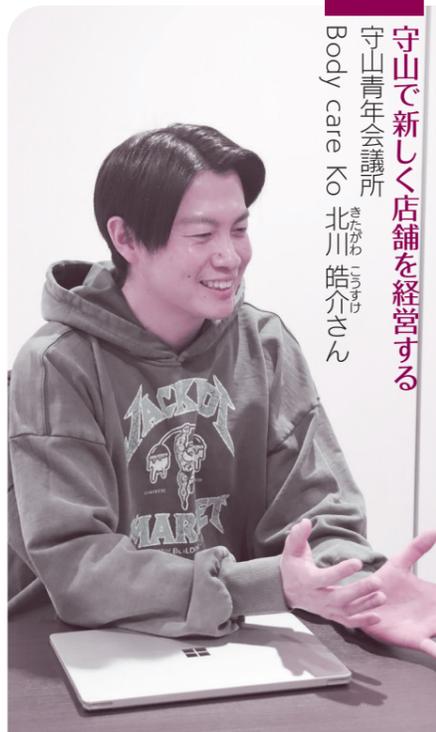
変がないかを見守るサービスもやっています。3代目とはいえ、文系から理系の仕事への転身だから最初は大変でした。まず工事の技術向上を目指しています。それから、文系の力を生かして情報発信力を入れて、地域と事業所ともしっかりつながるようになりたいです。

堀井さん 商店街を構成する店が減って住宅が増えています。一度途絶えた「もりやまいち」の復活への苦勞を惜しまなかったのも、守山らしさという部分で私たちが担っているものは昔より大きいと思っています。

北川さん 私3代目になりますが、起業や事業拡大を考えている経営者を誘致して、商店街の利便性と風情を残す努力をしています。まちの商店だからこそ、顔の見える安心感や利便さを多くの人に知ってもらいたいと思っています。

杉原さん 生徒は、地元の企業に出かけたり、市内のイベント活動の企画・運営などを通して、たくさん大人と接しています。高校時代にどんな人と出会い、どんな刺激を受けるかは、自分の将来をこれからどうするのかとは少し違つかもしれないけれど、今後

守山で新しく店舗を経営する
守山青年会議所
Body care KO 北川皓介さん



宿場の風情残す商店街
中央商店街
堀井商店 堀井美津江さん



さらに高校生が関心を持つて地域に目を向ける機会や出会いを増やしたいと思っています。

北川さん 師匠からの独立を決めた時、ちょうどコロナ禍になり、動きが取れなくなった中で、後には引けずイヤッと守山市に店を構えました。インスタグラムも頑張つて上げています。ただ、氾濫するSNSやネット

の情報に踊らされて「心、技、体のバランスを崩してしまう人もいます。私としては、守山から滋賀県全体、今後関わっていく人たちの健康回復とスポーツの両面から事業を盛り上げたいと思っています。

宮川さん・北川さん 私たちは守山青年会議所(JC)の会員です。人のつながりが希薄な中、青

わたしのまちの未来へ

年会議所に入ったことで人脈が広がり、自分の知らない世界や今のメンバーなど、いろいろな出会いに恵まれました。成長期のまちでは「やらなあかん」とがたくさんあったと思うけれど、便利な世の中でのいろいろ事足りてきて、新しい活動意義を模索している最中です。私たちに何ができるか、何年かかけて地域課題を探ろうとしているところです。仲間も増やしていきたいです。

北川さん 守山の商工業という老舗も大企業も新しい起業家もひっきりない印象で、僕の地元の米原市と比べても、守山はすごいと思います。便利だし、人口も増えているし、なんか非の打ちどころがない。昔からあるホテルや火まつりなどの魅力を強化して、最終的に新しいものを生み出せたらいいなと思います。仕事のには、やっぱりスポーツの分野で、すごい選手を輩出できるようにまちになってほしいし、そのお手伝いができたらと思います。

宮川さん 中央商店街に会社を構えていることもあり、地元と根差している商工業者に頑張つ

てほしい。近所の〇〇さんと呼び合えるような、商店街の優しい雰囲気やまち全体に広がればいいですね。
杉原さん 地域とともにある学校を目指し、地元の商工業者やJCなどの団体、行政にも協力してもらって、高校生を地域が育て、何年後かに地域で活躍する。そのような環境を創れるよう、コンソーシアムを組織したいと考えています。生徒を育て人づくりをして、企業が欲しい人材を地元で還元できるような教育を目指しています。ですから、高校生が働きたいと思う魅力のある地元商工業者がたくさんあってほしいと思います。
堀井さん 中央商店街界隈で開催される「もりやまいち」「もりやま夏まつり」は、商店街と住民と市が、皆で盛り上げる大きなイベントです。準備は大変ですが、子どもの頃に地域で経験する「楽しかったよね」という思い出は将来につながると思っています。その思い出を創れる幸せを次の世代につないでいきたい。時代と地域と歩調を合わせることで、地域の商工業もまちも未来が開けるのではないのでしょうか。

18

ピックアップ

市内の事業所数は増加の傾向

官民の協力で若い事業者が活躍

商工会議所から見た景況 サービスの増加が顕著

市内には現在約2,660の事業所があります。このうち個人事業主から大手まで52・8%にあたる約1,400事業所が、守山商工会議所に加入しています。守山商工会議所には、商業、サービス業、観光理財、工業、建設の5部会があります。

市内の事業所数は平成24年と令和3年を比較すると増加して

事業所の推移(令和3年)

業種	平成24年	令和3年
商業	913	953
サービス業	398.5	401
観光理財	806.5	916
工業	229	190
建設	288	255
合計	2,650	2,715

※守山商工会議所でカウントされない事業所も含まれます。
※複数にかかる業種は等分しています。

商業(卸売業・小売業)の推移

	事業所数	従業員数
平成24年	672	5,476
平成28年	718	6,348
令和3年	644	5,918

工業の推移

	事業所数	従業員数
平成24年	229	6,682
平成28年	208	7,650
令和3年	190	7,322

令和3年度経済センサス活動調査より一部抜粋

特に市内の事業所では、人材確保などの課題もあり、目まぐるしい時代の変化に追いつく事業経営は難しいのが現状です。

事業者の課題を助ける 官民の強固な連携が評判に

いますが、卸売業や小売業といった直接的な物販の商業は減少傾向にあります。製造業(工業)は一時減少しましたが、ここで働いている従業員数は増加しています。

本市は市内の事業者を支援をするため、デジタル化促進補助金など独自の取り組みを実施するほか、創業セミナーなどのさまざまな事業は守山商工会議所に委託しています。本市と守山商工会議所の連携は県内でも強固といわれており、近年では近隣の事業者からも「守山商工会議所に加入したい」と相談を受けるようになっていきました。

守山商工会議所では、個々の事業所では難しい「情報発信」「販路開拓」「創業支援」「専門家相談」を4つの柱に重点的な支援業務を行っています。特に専門家相談は顕著な増加傾向にあります。

また、新たに守山で事業を起した経営者や2代目3代目の若い後継者が活躍しています。事業者同士のつながりは、まちづくりを培う力にもなっています。課題もありますが、本市の商工業はエネルギーシフトに前進しているといえます。

商工業の課題への対策と応援(一部)

人材不足に対応した支援



本市と守山商工会議所、株式会社タイミーの連携協定締結、人材確保への補助金など、地域の事業所の人材不足解消への助力をしています。

事業の承継につながる支援

後継者がいないことなどで事業の継続が難しい場合の承継、第二創業などに向けて、経営支援アドバイザーを派遣、専門家との意見交換やセミナーなどの機会創出を守山商工会議所に委託しています。

事業のデジタル化を支援



市内の中小事業者に向けて、AIなどを活用したデジタルソフトウェアやシステム導入、ECサイト制作など、デジタル化による事業の効率化などにつながる取り組みへ、独自に補助しています。

起業創業を目指す人を支援



創業のきっかけづくりとなるセミナーの開催や、起業に向けた基礎知識の習得を目的とした創業塾開催など、創業前のサポートを実施しています。



住みやすさ+アルファの創出で未来へ

地域おこし協力隊 まちづくり会社から守山の活性化を目指す

知識と経験を生かしたい 成長都市での地域おこし

昨年7月に守山市長から、まちづくり部門の地域おこし協力隊の委嘱を受けました。大阪で働いていたので、守山のことには知らないことも多く、いろいろな人に教えてもらいながら仕事をしています。

地域おこし協力隊員としての勤務先である「みらいもりやま21」では、指定管理者となっている守山宿・町家3つの家、あまが池プラザ、びわこ地球市民の森などの施設で、イベントの企画や花壇の世話、市民や商工業者の意見を聞くなど、あらゆることをやっています。

まちづくりの仕事は多方面 地域資源の掘り起こし中

まちづくりは幅広く多方面に及びますが、地域の商工業や経

済も大きな要素だと思っています。

そこで私は今、市内のあちこちで埋もれた資源を掘り起こす仕事をしています。多くの市民に出会い、8カ月余りで約200枚の名刺を交換しました。

観光に携わっていた前職の視点で見ると、地域には掘り出し物の店や資源がたくさんあります。掘り起こした資源を生かすことで、まちのにぎわいや商工

業の活性化にもつながるのではないかと思っています。

ポータルタイムを生かして その先の未来を拓く

高い自治会加入率や市民活動にも表れている地域「コミュニティ」住みやすいベッドタウン、水やホタルなど受け継がれてきたシビックランド、それらは守山市の魅力といえますが、将来を見据えた時には十分ではないと思っています。

緩やかな人口増加が続いてい

まちづくりをしたいと考えています。

住みやすさ+の魅力を模索 交流人口の増加で活性化

守山には、住みやすいベッドタウン+アルファの強さが必要になると思います。「観光」も可能性の一つとして上げられると思っています。ちょうどJR西日本のディスプレイーションキャンペーンが滋賀県で開催される予定です。その時にはピワイチや中山道守山宿など、従来の資源を生かすだけでなく、発掘した地域資源をつなぎ、国内外の観光客にとって守山が通過点ではなく目的地となるような企画を打ち出していきたいと考えています。

林 将生さん

「住みやすいまち」としての魅力が継続しているからでしょう。しかし、少子高齢化や人口減少は全国的なものです。「守山市長期ビジョン2035」でも、およそ10年後には守山市でも人口減少が始まると想定されています。

私は10年のポータルタイムの間に、その先の未来につながる包括的な商工業の発展を含むま

守山を訪れる人が増えることは、商工業者にとっても、特色ある個店へのチャレンジであり、経済効果をもたらす入り口となります。そこで生まれた新たな魅力が、市民にとって住みやすさ+アルファになり、訪れる人が関係人口・交流人口となって守山市を大きく活性化してくれる。それが、私の考える守山のまちづくりです。



斬新な着想で新しい風を起して

株式会社みらいもりやま21 鶴飼 重樹さん

まちづくりのフィールドで 地域に埋もれた資源を発掘

株式会社みらいもりやま21(MM21)は、守山のまちづくりをフィールドにする株式会社です。あまが池ブランチや、びわこ地球市民の森など、守山のまちづくり・にぎわいづくり拠点となる施設の指定管理者として運営を担う一方で、大きなイベントに参加したり、ミニイベントを主催したり、いろいろな商工業者の相談に乗ったり、仕事は多岐にわたります。

まちづくり分野の地域おこし協力隊員として市の委嘱を受けた林将生さんが、MM21の社員となって約8カ月、指定管理施設の運営など、社員として複雑な業務をこなしながら、地域に点在する埋もれた資源を掘り起しています。

風物、経済、安全な暮らし バランスのとれた守山に

守山で生まれ育った私は守山のまちを、すくく良い所だと思っ



し、誇りも持っています。でも、市外から来た若者の視点や構想、考え方や仕事ぶりにふれて、守山に慣れすぎて忘れていたこと、目に映っているのを見ていなかったことが多いと思ひ至りました。

私はまち工場の2代目ですが、時代が進んでも変わらぬファンがいてくれます。商工業の継承者も創業者も「守山で商売をやっているよかったです」といつてもらえるような、経済の活性化もまちづくりの大きな要素だと思ひます。守山らしい風物、経済と物資の循環と潤い、安全な暮らし。林さんには、従来のまちの魅力に斬新な着想で風を吹き込みながら、バランスのとれたまちづくりを引っ張ってほしいと期待しています。

世代を超えた地元愛で商工業を活性化

守山市商工観光課 坪内 稔夫さん

地域の商工業と経済を 協働で盛り上げ課題解決

市の商工観光課では、本市の商業、工業、観光業の振興を通じて地域経済の活性化とにぎわいを創出する役割を担っています。近年の深刻な課題の一つとして、人材不足や後継者がいないことで事業の継続が難しいなどがあります。市独自の補助金制度を設けることや商工会議所などとも連携をはかる中、課題解決のためのセミナーや会社説明会などの開催にも力を入れています。

さまざまな課題を抱えた事業者への支援はもとより、前向きに、積極的に取り組んでいる人々を支援し、応援していただくのが私たちの役割です。

地域コミュニティに若者が参加 新しい「守山らしさ」を創る未来へ

最近では、中学生や高校生が地域貢献授業の一つとして、市内で開催される「もりやま夏まつり」の運営スタッフや「もりやまいち」での商い体験、駅前緑地などで開催される「もり



やま冬ホタル」のイルミネーションの飾りつけなど、市内店舗や企業、地域の人々と共に汗をかいてきています。子どもたちが大人たちと共に地域の取り組みに参画する機会が増えることで、まちに関心を持ち、まちへの愛着や誇りを感じる機会の創出(シビックプライド)の醸成につながります。

子どもたちが大人になった時、市内の店舗や企業で共に働いてくれたり、地域における課題解決や「起業創業」に挑戦してくれるなど、本市の商工業は、今後も「住みやすい街」「人が元気な街」としての魅力を活かした「にぎわいづくり」でさらなる発展につながる可能性があると思ひます。

事業所とまちの課題へ 官民あげてチャレンジ

滋賀県は古今東西をつなぐ交通の要所で、それが、地域に根付いたさまざまな事業所の根幹に息づく近江商人の「三方よし」の信条を育んできました。その心意気は、守山の商工業者にも受け継がれています。

雇用するとともに地域経済に貢献しています。

守山の土地柄かもしれないませんが、水環境や生物多様性の保全などを意識した事業者も多いように思ひます。

技術革新や世代交代 将来を見据えた変化の時代

とはいえ、市内の事業所に限

親和性の高いまちの事業者 刺激し合って未来を創る

私は京都から婿養子に入った2代目の経営者です。ライフラインである水道設備などを手掛けているのですが、配管用のパイプ素材は昨今課題となっている老朽化にも対応するもので、世の中

持続可能な経済への期待ができるかと考えています。

人にもまちにも利益を還元する「守山の三方よし」

私たちは事業経営者が求める利益には、近江商人の「三方よし」の精神が宿っています。社会や地域にも目を配り、利益を還元することが「世間よし」につな

市民、事業所、行政が応援し合う「三方よし」のまち

守山商工業会議所会頭 大崎 裕士さん

まちの経済と人のベクトルが一致して、事業者も市民も行政も、協力しながら守山の未来を築いていきたいと思ひます。

守山市の人口は令和7年12月末現在で約8万6,000人。市制施行から56年で倍増しました。短い歳月ではありませんが、自治体として考えれば、まだまだ若さも勢いもあると思ひます。

それは、起業創業の支援や商工業者の困りごとに、商工業者と守山商工会議所、行政が協力して向き合うチャレンジ精神にも表れているのではないでしょ

うか。現在、守山市には大企業や個人事業主も含め、2,660社の事業所があり、市民の2割を

らず、人材不足や承継者の不足もこれからピークを迎えると思ひます。それは、第2次ベビーブームで生まれた世代が、ちょうど10年後に60歳を迎えるからです。人口が集中する都市部も、今は緩やかな人口増加が続く守山も、その後の人口減少を止めることはできないでしょう。

市内には時代を先取りした技術で世界や全国に進出している工場があり、私たち事業主も、そつした将来を見据えて、世代交代や技術革新に取り組んでいくこととなります。

確実に進んでいます。コンパクトな都市の良さもあり、守山は親和性の高いまちだと感じています。

市内には、古くから何代にもわたって商いをしてきた老舗や地元

